



小・中学校卒業証書授与式

3月15日に市内の小学校11校、16日に中学校4校で卒業証書授与式が行われ、小学生404人、中学生472人が卒業しました。式では、在校生や保護者など大勢の出席者が見守る中、卒業生が入場し、校長先生から一人ひとりに卒業証書が授与されたほか、来賓や在校生などから卒業生にお祝いや感謝の言葉が贈られました。卒業生たちは、学校生活での思い出を胸に、夢や希望に向かって新たな旅路へと歩み出しました。

【写真：南宮中学校（左上、左下）、平野小学校（右）】



おしゃべりイブニングNAKANO

3月22日、「結文舎^{むいぶんしゃ}まちのアトリエ」において「おしゃべりイブニングNAKANO」を開催しました。当日は、一般公募の参加者や「魅力あるまちづくり若者会議」のメンバーがプレゼンターとなり、個人や有志団体で行っている企画や、今後やってみたい活動の紹介など、さまざまなテーマで発表しました。また、休憩時間には、会場に訪れた皆さんで、それぞれが持つアイデアや想いを語り、交流を深めていました。



ふるさとレポート発表会

3月20日、市立博物館において「ふるさとレポート発表会」を開催しました。当日は博物館講座「みんなで研究コース」のレポート発表のあと、博物館・生涯学習課で行った調査・研究、また中央大学山崎研究室との共同調査の成果報告が行われました。「豊田の石仏を調べよう」講座の発表では、豊田地域で発見した石造物を、文献や聞き取り調査から考察し、地域の歴史を浮かび上がらせていました。



中野ひな市

3月31日・4月1日の2日間、市街地において「中野ひな市」が開催されました。初日は、中野人形・立ヶ花人形の展示即売会が開催され、購入権と購入順を決める抽選会には、大勢の土人形ファンが長蛇の列をつくりました。また、夜には恒例の「大灯籠びな行進」が行われ、中野土人形をかたどった大灯籠びなを西町祭祀団の皆さんらが威勢良く担ぎ、練り歩きました。このほか、両日にわたり全国の土人形を一堂に集めた全国土人形即売市や、まちかど土びな展などが行われ、市街地は大勢の人でにぎわいました。



生涯学習市民のつどい

2月26日、市民会館ホールにおいて「生涯学習市民のつどい」を開催しました。

当日は、子ども読書活動「ファミリー賞」の表彰と発表や、信州中野ふるさと交流団の活動発表を行いました。また、記念講演では、オスマン・サンコンさんを講師に迎え「サンコンのあふりか物語」と題し、日本と母国との習慣の違いから生じた自身の体験談などを笑いを交えながら語っていただきました。



きのこミュージアムシンポジウム

3月19日、中央公民館において「きのこミュージアムシンポジウム」が開催されました。

当日は、中野市食の大使の杉浦太陽さんやきのこミュージアム研究会会長の前澤憲雄さん、池田市市長などが『中野に「きのこミュージアム」は必要か?』をテーマにディスカッションを行い、生産者や地域が一体となったミュージアム構想や、新しいきのこ加工商品のアイデアなどを話し合いました。